

丈夫な体を持ち 欲は無く
決して瞋からず 何を為す

寒さに負けず 風にも負けず

山崎高等学校八十回生も、本校で初めての冬シーズンを迎えます。生徒の皆さんの方が私たちよりも慣れているかもしれませんね。

気象条件としての暑さ、寒さもありますが、本校での最初の一年のうち、三分の二が終わろうとする今こそ、

師走を迎えて
令和七年を走り切る
一か月にしよう

保護者にも見せてくださいね



令和7年度より
創刊
第9号

シン破天荒

さすれば

為せば成る

有名著書の一節や、名文句を活用させていただきました。

いついかなるときにも活かせる活字が、私たちの側にあることを幸せに思います。

この機会に、ぜひ次の言葉に触れてください。

それは、

不易流行

英語では

Fashion and Tradition

です。（だと思つてゐるのですが・・・）

大事にしたいことは万国共通ですね。

先月の「気になつた」と

先月の、『朝の四階窓開け』をしている際に、気に

なつたことがいくつあるので、お伝えします。
これは皆さん以上に、保護者にもお知りおき頂きたいことです。だらだらした紹介はピントがぼけるので、箇条書きで紹介します。

・これも先月に限つたことではないですが、昇降窓開けとともに廊下のモップ掛けをされている他学年の先生

・これは先月に限つたことではないですが、昇降窓を開け下さり、草刈りやごみ箱の整頓、清掃をしてくださる技能員さん

当たり前でない「当たり前」を、皆さんのためにしてくださっている方がいることを理解して、日々の生活を過ごしてほしいものだと思わずにはいられません。



先代スギはこれ



生徒たちの感想を、
以下に示します。

十一月四日火曜日に、八十回生森と食科が国有林見学実習に行きました。ちょうど、森と食科も次年度に向けて選択希望調査をしているタイミングですが、自身の進路選択の一役になればと思います。

森と食科
国有林見学実習

波賀にある赤西国有林に行つて、兵庫の国有林の面積のことや、そこに生えている木を観察して、この国有林にはどんな特徴があるのか学びました。一番印象に残っているのは先代スギです。そのスギは四百年もかけてその場所で育つてることにもびっくりしたし、その大きさにも驚きました。ツリーシェルターというものを初めて知つて、鹿が与える影響の大きさを感じました。

（女子）



ツリーシェルターでは小さな苗木もみられて、鹿の食害防止のための対策がしっかりとられていて、森林を守つていくのも私たちが思つてはいる以上に大きなことだと思いました。

（女子）

樹木などの円周を測るために、「直径巻尺」というものがあるということが初めて知れて良かったです。スギの木は、建材として利用できるまで五十年程かかるのには驚きました。

（男子）

男子
第一位 三組
第二位 一組
女子
第一位 二組
第二位 三組
同じく

国有林の見学をして思つたことは、天然林は木の幹がとても太くてびっくりしました。また、波賀町では四割が国有林と知りました。

国有林の見学をして一番印象に残つたのは、先代スギです。何年経てばこんなに大きくなるのか気になりました。

もう一つは気温にも感じるものがありました。普段私が生活しているところよりも寒かったです。

でも、空気が奇麗でマイナスイオンが心地良かったです。

（女子）

ここで学んだことを、実習の時に活かせるように頭に入れておきます。

（女子）

**学年レク
ドッジボール大会**

十一月五日水曜日六時間目のロングホームルームの時間に、学年レクでドッジボール大会を実施しました。

楽しそうな顔を見る事ができるのは嬉しいことです。しんどいと決めつけず、少し自分に強くなる、そんな高校生活を過ごしてもらいたいものです。

なお、結果は以下のようになりました。



開会式

表彰式
大きな袋や箱は得?
(日本昔話)



他のクラスも含めて、またの機会に頑張りましょう。

（女子）

でした。



した。(最肩目ではないですよ!)

残り二人は斎家さんから与えられた課題を演じることになりました。

一人目は、「酒を飲む酔っ払い」になり切って最後に「ふざけんな」の一言を発する課題を頂きました。

なかなか上手に演じられ、特に最後の「ふざけんな」は、迫真に迫る「心の声」だったのかもしれません。

最後の一人は、落語の中で斎家さんが演じている「上手に麵を食べているようにみせる」要領を教わりました。

五者五様、個性のある姿を見せてくれました。良い空気抜きになつたのでは。

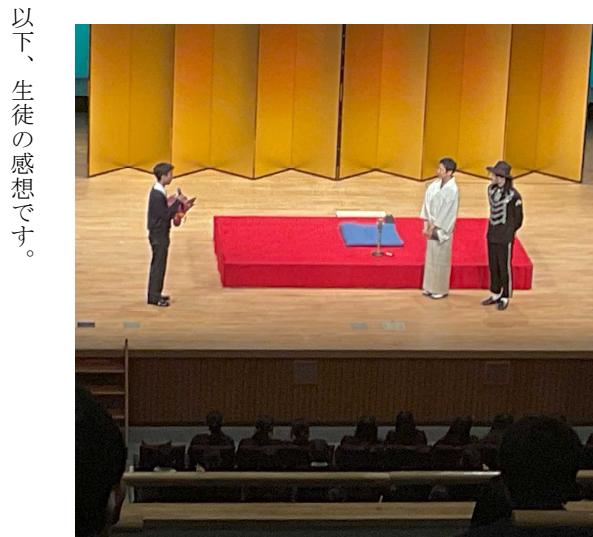
因みに、英語落語の中身は分かりましたか。私は、今は亡き桂雀々師匠が日本語で演じられていた姿を桂福丸師匠に重ねてしまいました。

生徒の多くは、その後のダンサー「マイケル」のインパクトが一番だったかもしれません。ただ、演者が「なんと反応が良い、やりやすい」という言葉掛けをしてくださったことは、「山高生」にとつては良い芸術鑑賞会となつたのではないでしょうか。

なお、謝辞も文化委員長（一年五組）が、学校を代表して述べました。

改めて、体験者の皆さん、苦労様でした。そして、

出演者の皆様、



もめっちゃ緊張しました。手とか震えていました。でも、実際に演じてみて、意外に楽しかったです。マイケルジャクトンさんのダンスは、めっちゃごかつたです。

(二組女子)

今日はとても良い時間だったと思います。落語もオチが分かりやすく、表現の仕方が上手で、本当に登場人物がいるみたいでした。

英語落語は簡単な英語ばかりだったので、私でも理解できて楽しかったです。

最後に、マイケルジャクトンさんです。大変似ていたし、ダンスが独学という話に驚きました。

人を楽しませるのが、二人ともとても上手で、私もあんな風になりたいと思いました。(三組男子)

今日落語を聞いてみてとても面白いと思いました。普段はあまり身近にないものだったけれど、聞いてみるととても面白かつたり興味深かつたので、舞台を観に行ってみたいと思いました。

また、小噺というとても短い落語があることも初めて知ることができたし、お囃子を流さずにその場で弾いているというところもすごいなと思いました。

マイケルジャクトンさんのパフォーマンスはとてももすごかつたし、面白いところもあつてとても格好良かったです。もつと日本の伝統を知りたいと思いました。

(四組女子)

今年は落語で、八十回生も五名の生徒が落語体験の機会を得ました。

まず一人目が、「何かを食べているように魅せる」と求められ、「ラーメン」を食べている様子を演じました。二人目は、「一人目とは違う何かを食べている様子」を求められ、「ステーキ」を食べる様子を演じました。続いて三人目は、「何かをしている」様子を演じることを求められ、野球部員が素振りをしている姿を演じました。

それぞれその内容は、観衆に伝わるものであります

面白かったし、楽しかったです。落語を体験するの

芸術鑑賞会の落語とか、マイケルジャクトン?

とても楽しかったです。

今日は貴重な体験ができて本当に良かったです。

(五組女子)

進路ガイダンス

十一月は大変たくさん行事がありました。その一つに、「進路ガイダンス」が十一月火曜日七時間目に実施されました。

参加生徒は、教育類型生を中心に他のクラスからも参加しました。

この日は、本校ホームページ内のブログにもあるように、総合的な探究の授業で神戸学院大学生との連携授業に関わっている班が、宍粟市役所にて中間発表を行ったため、参加希望者が重複したことでのこちらのガイダンスには参加できなかつたのは残念でしたが、教員への希望を高めてもらうための講演をして頂けました。

願わくは地元宍粟市のためには是非「教員」として凱旋してくれる事を祈るばかりです。なお、連携授業の中間発表については、最終発表の機会に紹介します。

NIE講演会実施



続いて、翌週十八日火曜日七時間目には、NIE推進協議会より網麻子様にお越しいただき、講演をしていただきました。

皆さんの目に触れるように、各階廊下で日々更新されている新聞の果たす役割、重要性を理解して、「読む」力、「考える」労力を育む姿が、私たち教員の目に触れる事を期待したいものです。

最後の質疑の際に、若干「頓珍漢」な質問もありましたが、人前で「言葉を発する」勇気を、「自分を成長させる」ための、誰からも応援してもらえる行動で返つてくることを、今回の講演会の成果として私たちは待っています。

皆さんの良さが鍛えられ、本来の持つべき力が發揮されるよう、自らを磨く努力に繋がる機会にしてください。

なお、本校での長生先生との時間は徐々に少なくなりますが、長生先生にも、胎児にも、皆さんとの想い出は「かけがえのない」ものとなります。最後まで、これからも、良い想い出を積み重ねることができるように、一日一日を大切にしましょう。

（予告）
次号で、長生先生と石田先生からのメッセージを頂く予定です。

学年集会 十一月十九日

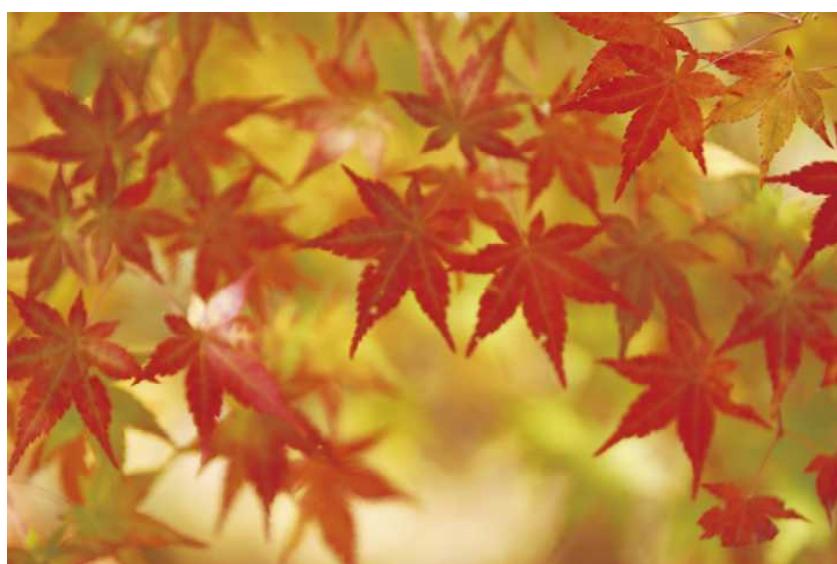
十一月十九日水曜日六時間目ロングホームルームの時間に学年集会を行いました。

その内容は、一年五組担任の長生先生が二学期期末考査後に産休に入られること、後任の担任に総務部から石田先生をお迎えすることになったことを、八十回生の生徒たちに連絡をしました。

まだ一ヶ月ほど時間がありますが、石田先生には八十回生との時間を共有して頂いて、チーム八十回生の力になつてもらおうと思います。今まで授業には来てもらつていらない分、皆さんのお姿を「俯瞰的」に眺めてもらえると思います。

皆さんの良さが鍛えられ、本来の持つべき力が発揮されるよう、自らを磨く努力に繋がる機会にしてください。

なお、本校での長生先生との時間は徐々に少なくなりますが、長生先生にも、胎児にも、皆さんとの想い出は「かけがえのない」ものとなります。最後まで、これからも、良い想い出を積み重ねることができるように、一日一日を大切にしましょう。



この一 十二月編

入	学	時	『縁』
五	月	月	『探』
六	月	月	『声』
七	月	月	『探』
一	学	期	『縁』
二	学	期	『触』
十	一	月	『声』
十	二	月	『笑』
『感』	『強』	『育』	『笑』

入学して半年が過ぎ、まもなく一年間の三分の一
が終わるとしています。

気けば、皆さんは皆さんの中に映っていた姿を
目指しているのでしょうか。

毎日がただ何となく過ぎて、目の前にあることを

ただ何となく「楽しい」と勘違いし、振り返つてみると「自分は何してるん?」と感じることがあってほしいものです。

人は成長する動物のはずです。ただそのためには「良くも」、「悪くも」、肌で、心で感じることが一番大切です。

皆さん、どうか自らの心を振り動かすことを大切にしてください。そのために、物事を「感じる」心を忘れないでください。

すべては

「自分の未来」

のために。

今月の出会い

今月の出会い PART II

本校赴任以来、どうしてもお会いしたかった方に十一月八日土曜日、ついにお会いすることができます。

その方とは、本校卒業生で、しかも本校で教職を終えられた梶浦永人先生です。

梶浦先生との縁は、私が教員としての職に就き、陸上競技部の顧問として、兵庫県高体連陸上競技部の仕事をさせてもらって以来、さらに再び西播地区に戻ることになって以来、深く縁を頂きました。

私の娘も梶浦先生の元でお世話になれると思つたタイミングで、母校の山崎高等学校に転勤されたのは残念でしたが、入学前のたかが一日の出会いに、我が娘の脳裏にもしつかり焼き付いてしまう、大変魅力的な方でした。

近くにお住まいなのでいつか遭えると思いながら、半年が過ぎ、近くで遠い存在になってしまいそうでした。が、練習が終わって帰宅する偶然の出会いに、感謝感謝でした。

いい年をした大人二人が、学校のグラウンド沿いで、周りを気にすることなく大笑いし、学校の話をたくさん聞き、町や学校の行く末や、要望、期待をお聞きできたこと、それでも明るい梶浦節に触れることができたこと。本当に会いたかった人とただ話ができることが、こんなに人を幸せにすることを再認識できることに感激しました。

将来、皆さんもそんな振り返りができるような人との出会いがあるように、自分への「感」度を敏感にしてほしいものです。

十一月は二度の三連休がありました。二度目の三連休は、山崎では「紅葉祭り」と遭いましたが、時を同じくしてこんな再会もありました。

ご夫婦のうち、おばさまが五月に亡くなっています。

その報を知り、期末考査の折におじさまを訪ね、墓参りにも行かせてもらいました。僅かな時間と共にする中で、この縁をいつまで続けることができるのだろうという不安と、この縁を一つ一つ大切にしたいという思いが交錯しました。

時が経ち、十一月二十二日、おじさまの息子さん夫婦が、わざわざ姫路に来訪し、再会をすることとなりました。振り返れば、再会はなんと

四十七年ぶり

別れが生んだ、新たな再会となりました。

記憶をたどり、いろんな懐かしい話をすることもできました。

新たな出会いが、おじさまとの旧き良き長い付き合いを継続でき、さらに新たな再会をできることをこれからも励みにもなると思いました。

皆さんには関係のない話ではあるけれど、無関係と思う中に、いろんな学びもあったことを伝える」とができたらと思い、投稿しました。



十一月の予定

二日(火)～十日(水)	教育相談	一日(木)	元旦
四日(木)	期末考查	五日(月)	仕事始め
四日(木)	マラソン大会前健康診断	八日(木)	始業式
十日(水)	いじめアンケート	九日(金)	課題考查
	頭髪等検査	十二日(月)	成人の日
十一日(木)～二十三日(火)	午前中授業(一・二・五・六限)	十四日(水)	防災学習(6限 同窓会館)
十二日(金)	教育相談	十六日(火)	1・17追悼行事 教育相談
十五日(月)	岡山大学訪問(希望者) LHR(内容は改めて)	十七日(土)～十八日(日)	二年 修学旅行(～十九日まで) 三年 共通テスト激励会
十六日(火)	防災避難訓練		「何かを残せ」
十七日(木)	防災体験活動	二十二日(木)	共通テスト
十九日(金)	人権映画鑑賞会(山崎文化会館) 教育相談	二十三日(金)	課題研究発表会(森と食科) 教育相談
二十三日(火)	大掃除	二十四日(土)	ベネッセ総合学力テスト
二十四日(水)	終業式	二十八日(水)	学年進路行事(五・六時間目)
二十六日(金)	仕事納め	三十一日(土)	山高街の駅④

とはいいません。

「残つたな」

と言わせてくださいね。

次号に向けて、八十回生からたくさんの方々が
されることを期待します。

一月の予定

二〇二五年 最後の一か月

